

自教労働者

東京自動車教習所労働組合機関紙

発 行 者

東京自動車教習所労働組合

〒110-0003東京都台東区根岸4-11-10

TEL03-3871-6470 Fax 03-3871-6473

E-mail tdu@toujikyoo.or.jp

URL <http://www.toujikyoo.or.jp>

事業用自動車運転者の 実技指導強化を求める

国土交通省へ要請

共同センター政策委

5月23日、全国自教労組共同センターは、東京、埼玉、千葉、京都、大阪の政策委員8名が、国土交通省に「交通事故撲滅に向けた請願」を表題に5つの掲げて要請行動を行いました。（要請内容と回答要旨は2面）

国土交通省への要請行動は、10年前までは自交総連の中央行動と連動して実施していましたが、自教業界で特に必要な要請内容が当面無かったこと等から実施していませんでした。

今回の要請行動は、2016年1月に軽井沢でスキー客を乗せたバスが交通事故を起こしたことをきっかけに、事業用自動



国交省で要請行動中の政策委員

車の運転者に対する安全教育の必要性が明らかになったことや高齢者より多い20歳代の事故、高齢ドライバーの交通事故、自動運転車普及に向けた取り組みなど、国土交通省に向けた要請が高まってきたことが背景にあります。国交省の要請行動は初めてとする政策委員でしたが、理路整然と自教労働者の要求を伝えることが出来ました。



← 国交省前

貴省が日頃から「国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全」など様々な施策に取り組まれていることに敬意を表します。

私達、全国自教労組共同センターは1979年に指定自動車教習所で働く仲間が結集・結成し、自教職場で働く仲間の声を集めこれまでたくさんの制度・政策要求の実現を目指し関係省庁と交渉を重ねてきました。貴省にはこれまで自交総連と連携し請願行動を行ってきた経緯があります。

今回の請願行動は、内閣府から第10次交通安全基本計画が発表され、官民が協力して交通事故撲滅に向け諸政策を実施しているなか、依然として多い若年層の交通事故や高齢者の交通事故が注目されるなど、交通事故撲滅に向けた更なる具体策の実践が必要であると考えています。中でも道路利用者の交通安全教育の充実は事故撲滅を図るための重要な施策の一つであると考えています。

貴省におかれましては、請願の趣旨を理解され下記に掲げる項目を検討され、実施されるよう請願します。

記

1、国土交通省のホームページで自動車総合安全情報の「事業者が取り組む安全対策」(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03safety/>)に、「国が指定する機関による安全対策」とありますが、その中に「一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会」を追加すること。

参考 独立行政法人 自動車事故対策機構（適性診断）

社団法人 全日本トラック協会（Gマーク等）

財団法人 東京タクシーセンター（登録事務・研修等）

財団法人 大阪タクシーセンター

2、昨年11月に貴省は「旅客自動車運送事業運転者への指導・監督の指針」を改正し指導体制を強化しましたが、交通事故の撲滅を図るために事故惹起運転者に対する 特別な指導の内容及び時間として「貸切バス以外の運転者に対しても20時間以上の 実技指導」を義務化するように法改正を行うこと。

3、貨物自動車運送事業者が自動車の運転に対して行う指導及び監督の指針を改正し、トラックの事故惹起者に対する特別な指導の内容及び時間として上記の目標を果たすため「20時間以上の実技指導」を義務化するように法改正を行うこと。

4、実技指導に関しては、指導未実施などの不正を防止するため、必ず外部機関で実施させるよう改正を行うこと。

5、現在、いろいろな業種においてサービスの一環としての「送迎」がありますが、これらの車両の運転者に定期的な安全運転講習の受講を義務化するように法改正を行うこと。

以 上

東自教 第13回ツーリング大会

5月15日(月) 東自教ツーリング大会を行いました。目指すは軽井沢方面で目的地は鬼押出し園！

今回の参加人数は総勢49名。二輪車31台、四輪車7台と大所帯です。

しかも嬉しいことに寄居武蔵野支部の仲間6名に初参加して頂きまして12支部となりました。

関越道、上信越道を快走し松井田妙義I.Cを経て碓氷バイパス辺りで霧が発生し雨もちらほらでしたが予定通り軽井沢バイパスから国道146号線の峠を目をパチクリしながら団結力を発揮し無事に鬼押出し園に入園！！



判断し当初、高坂S.Aで総括、解散予定でしたが横川S.Aで行いました。

参加者のコメントから皆さん楽しく満足されたことを実感しました。

参加された仲間の皆さん大変お疲れ様でした。



皆さん、かなり空腹だったらしく好みのランチを召し上がっていました。展望レストランでしたが濃霧の為、眺望はイマイチでしたが全員楽しいランチ交流を堪能しました。

その後、自由散策。最後に集合写真を撮り復路へとスタート！鬼押ハイウェイから中軽井沢方面へ。軽井沢高校を左手に見ながら軽井沢72ゴルフ場の間を抜け上信越道の碓氷軽井沢I.Cから東京方面へ向かいましたが天候もあまり回復しない為、各自マイペース走行がベストと



